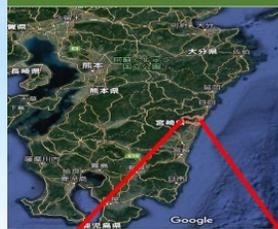


学生と農家のマッチングで マチがGOOD!

～学生の都農町移住で持続可能な農業の実現～

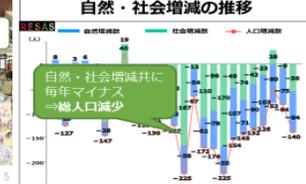
宮崎大学 地域資源創成学部 根岸研究室

1. 都農町とこれまでの根岸研究室の活動について

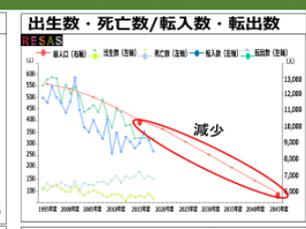


- ・温暖な気候を活かした農業が産業の基盤
- ・今年で町制100周年を迎えた町
- ・2017年ふるさと納税 寄付額全国2位 (79億円)
- ・これまで根岸研究室では、都農町の祭りの運営や農作業体験、「道の駅つの」での職場体験などを通して都農町と密接な関係を築いてきた

人口：10,030人
面積：102km²



2. 都農町の現状・人口



RESAS 分析の結果

- ・都農町の人口減少・高齢化は年々深刻化
⇒2045年高齢化率が約50%
- ・2015年の総人口は約1万人だが、2045年には6,000人となり、都農町の人口が40%減少すると予測



RESASを活用した政策提言とゼミ活動

～内閣府地方創生政策アイデアコンテスト2020に参加して～

宮崎大学地域資源創成学部 根岸裕孝

地域振興を企画・実践できる人財を育てます
それが、宮崎大学「5つ目の新学部」

平成28年度設置

入学定員90名

地域資源 創成 学部

地域資源を複眼的に理解・活用し、ビジネス等に結びつけられるよう、

- ✓ マネジメント(企画・実践能力)ができる力
- ✓ 異分野(農学・工学・人文社会科学)の知識
- ✓ 専門性の高い教養(経営・経済等)の知識
- ✓ 英語による交渉(ビジネス英語)ができる力



地方創生
★
政策アイデア
コンテスト
2020

あなたが暮らす、または、ゆかりのある地域の現状・課題について地域経済分析システム (RESAS)等を使って分析し、政策アイデアをご提案ください。

アイデア求む!
まずは
RESAS
地域経済分析システム
を検索!!!

応募期間
2020 **7.14** 火 ▶ **10.9** 金

募集区分
高校生・中学生以下の部 / 大学生以上一般の部 / 地方公共団体の部

政策アイデアの例
・新型コロナウイルスにより受けたダメージを〇〇で回復する
・地域の人口減少・少子高齢化を〇〇で解決する
・地域への観光客、まちのにぎわいを〇〇で増やす
・地域の〇〇産業を〇〇で活性化させる
・地域経済を〇〇で元気にする
・アプリを活用して、地域の魅力を伝える

表彰
各部門それぞれで地方創生担当大臣賞、優秀賞等を授与

最終審査会
日時：2020年12月19日(土)
場所：中央合同庁舎第8号館 講堂(内閣府)
※状況に応じて変更される場合がございます。

※応募の詳細、受付はこちらから

地方創生 政策アイデアコンテスト 検索
<https://contest.resas-portal.go.jp/2020/>



主催：内閣府地方創生推進室
共催：経済産業省

お問合せ先 | 地方創生☆政策アイデアコンテスト2020事務局 受託事業者/株式会社大広
電話番号/03-4346-7226(直通) 10:00~18:00(土日祝を除く) E-Mail/resas2020-info@daiko.co.jp

○地方創生★政策アイデアコンテストとは

- RESASを活用した地域課題の分析を踏まえた、地域を元気にするような政策アイデアを募集するコンテストです。
- 「高校生・中学生以下の部」、「大学生以上一般の部」、「地方公共団体の部」の3部門でアイデアを募集します。
- 12/19(土)に開催される最終審査会ではファイナリストのプレゼンテーション審査を行います。今回のコンテストを機に、RESASを使って、自分の地域や故郷の現状を知っていただき、さらに地域の未来をどう作りたいか考えていただければ幸いです。

地方創生★政策アイデアコンテスト2020 最終審査会

大学生以上一般の部

政策アイデアのタイトル	発表者(敬称略)	分析対象自治体
1 エアロバイクで 仮想空間ライブマラソン!	中小企業政策研究会ビジネスモデルカフェ 江口健介 木下 忠 北濱 慶 浅野俊太 小薄太志 酒井利之 地引智美	秋田県
2 酒屋のおばちゃんとする オンライン・ツーリズムの支援と実践	加登屋酒店&しんきん 地方創生サポーターズ 片岡智絵 井上有弘 平野義浩 新井福二 石井イツ子	福島県
3 江東区豊洲の市場流通網と IT×地方の特産品の連携・協働による 地方創生 withコロナVersion	株式会社ビジネスクロス 江東区豊洲チーム 宮崎博孝 木内清人 渡辺 裕 内田泰裕 前島瑞希 木村和広	東京都
4 10年後プロジェクト ～神奈川県 川崎地域～	横浜銀行 地域戦略統括部 河野辰巳 山本真悠子 佐々木雄一	神奈川県
5 牛乳de地方創生 喉も地域も潤す半田の牛乳	中京大学 今井ゼミ 新美啓人 浅井紗耶可 太田社一郎 知花潤也 水谷記子	愛知県
6 空き家が繁く人と未来 空き家を利用した共生社会構築への挑戦 鳥根県松江市持田町の事例を踏まえて	古民家上手プロジェクトチーム 橋本友太 佐藤和輝 青晴海	鳥根県
7 農を活かして人を活かす	梶並地区活性化推進委員会 北野裕司 富阪皓一 加藤泰三	岡山県
8 1ヶ月滞在型ワーケーションによる 地域とつながる関係人口創出	株式会社ビジネスクロス 熊本県芦北町 長期滞在型ワーケーション推進チーム 宮崎博孝 木内清人 渡辺 裕 内田泰裕 木村和広 前島瑞希	熊本県
9 学生と農家のマッチングでマチがGOOD! ～学生の都農町移住で持続可能な農業の実現～	宮崎大学 地域資源創成学部 根岸研究室 中村勇輝 衛藤光希 江藤雅也 中尾美咲 森口海生 坂元さくら	宮崎県



地域資源創成学部学生グループが地方 創生☆政策アイデアコンテストにおい て九州経済産業局長賞を受賞

トップページ > ニュースリリース > トピックス > 地域資源創成学部学生グループが地方創生☆政策アイデアコンテストにおいて九州経済産業局長賞を受賞



2019年・2020年 2年連続九州経済局長賞受賞

2019年 提案（道の駅発起業家支援）

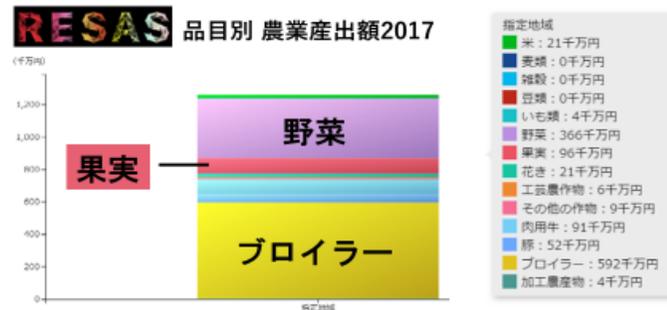
道の駅発！起業家支援で農の都へ
 ～食が湧く、働く（WORK）、都農がワクワク！～

宮崎大学 地域資源創成学部 根岸ゼミ

1-2. 都農町について

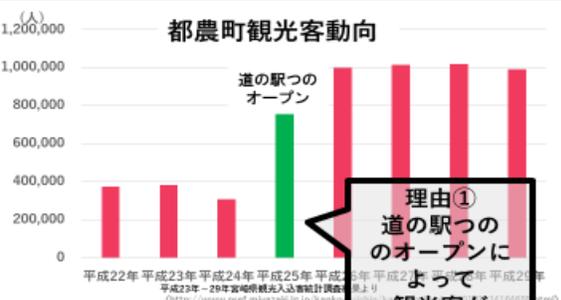


都農町の生産額の大きい産業が分かる
 農業は都農町の稼いでいる産業である



農業の中で稼いでいる品目分かる

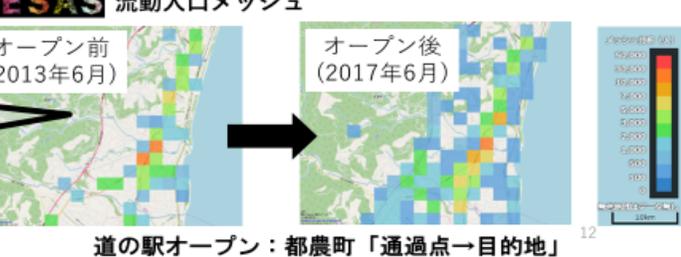
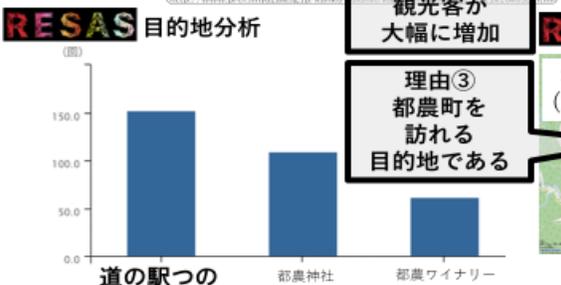
4-1. キーとなる道の駅が存在 一道の駅つのを政策の拠点とする理由一



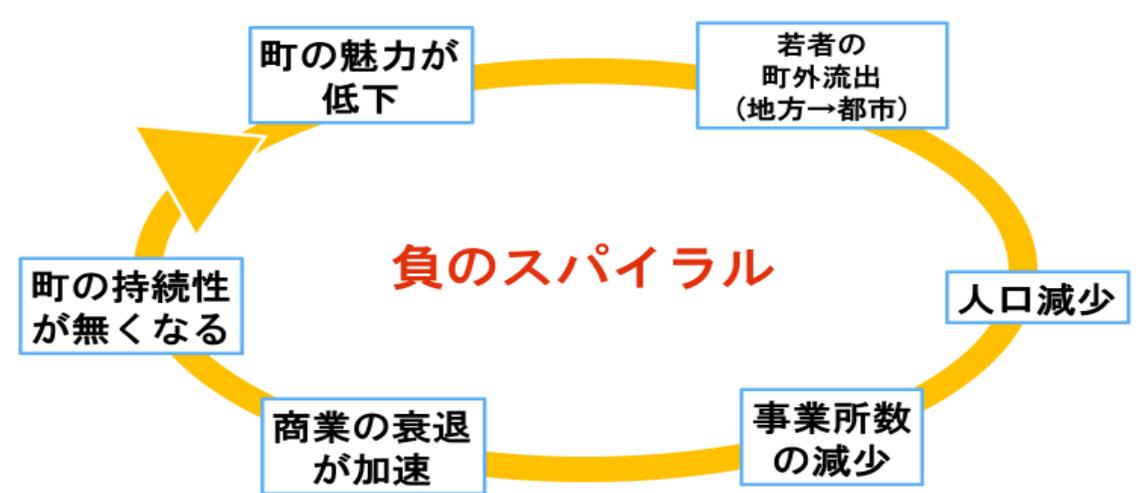
観光地・観光施設上位20(宮崎県内)

順位	観光地・観光施設名	平成29年	前年比
1	高千穂町	1,302,000	111.6%
2	鶴戸神社	924,987	103.1%
3	青島(青島神社)	904,842	97.5%
4	酒泉の杜	758,466	96.2%
5	西都原古墳群	757,745	77.8%
6	えびの高原	635,099	101.2%
7	道の駅えびの	634,502	103.6%
8	道の駅つの	599,401	118.9%
9	宮崎神宮	546,100	102.1%
10	道の駅フェニクス	522,783	92.7%

理由②
県内でも観光地として多くの人々が訪れる



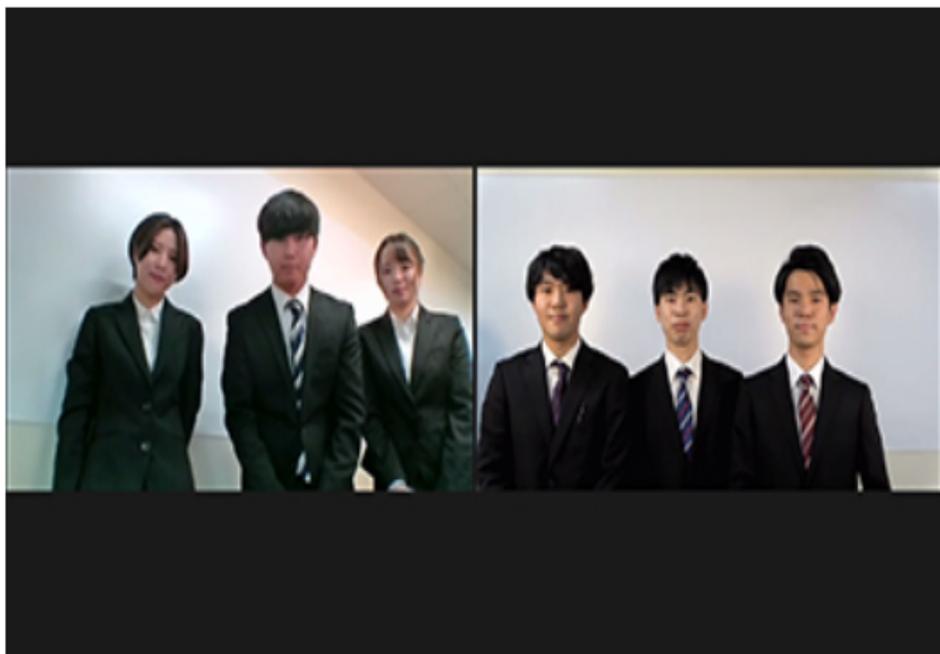
2-2. RESAS等により把握した課題



大学生以上一般の部

★学生と農家のマッチングでマチがGOOD!

~学生の都農町移住で持続可能な農業の実現~



チーム名

宮崎大学 地域資源創成学部 根岸研究室

参加者氏名

中村勇輝、衛藤光希、江藤雅也、坂元さくら、中尾美咲、森口海生

分析対象地域

宮崎県都農町

動画を見る



資料を見る



地方創生☆政策アイデアコンテスト2020

学生と農家のマッチングで マチがGOOD!

～学生の都農町移住で持続可能な農業の実現～



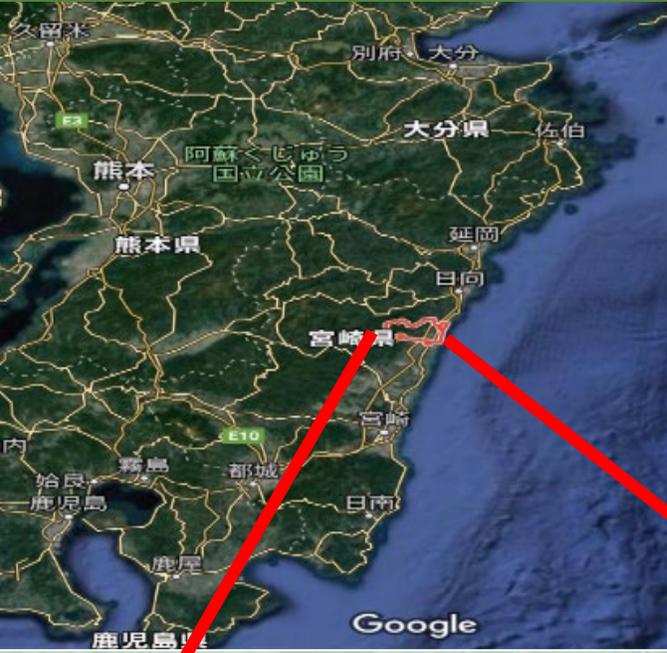
宮崎大学 地域資源創成学部 根岸研究室

全体の概要

1. 都農町とこれまでの根岸研究室の活動
2. 都農町の現状
人口/産業分析/産業課題/若者
3. コロナ前後における大学生への影響
4. 学生団体 **One hundred**
概要/ニーズ調査/もたらす影響
取り組む3つのプロジェクト
5. 移住ワークスタディ
『農の都』制度・流れ
6. 今後の展望



1. 都農町について



山と滝とくだもののまち

- ▶ 温暖な気候を活かした農業が産業の基盤
- ▶ 今年で町制100周年を迎えた町
- ▶ 2017年ふるさと納税 寄付額全国2位 (79億円)



人口：10,030人 面積：102km²



1.これまでの根岸研究室の活動について



「道の駅つの」で
職場体験

これまで根岸研究室では、
都農町の祭りの運営や農作業体験、
「道の駅つの」での職場体験などを
通して都農町と密接な関係を築いてきた



都農町の農家で
農作業体験



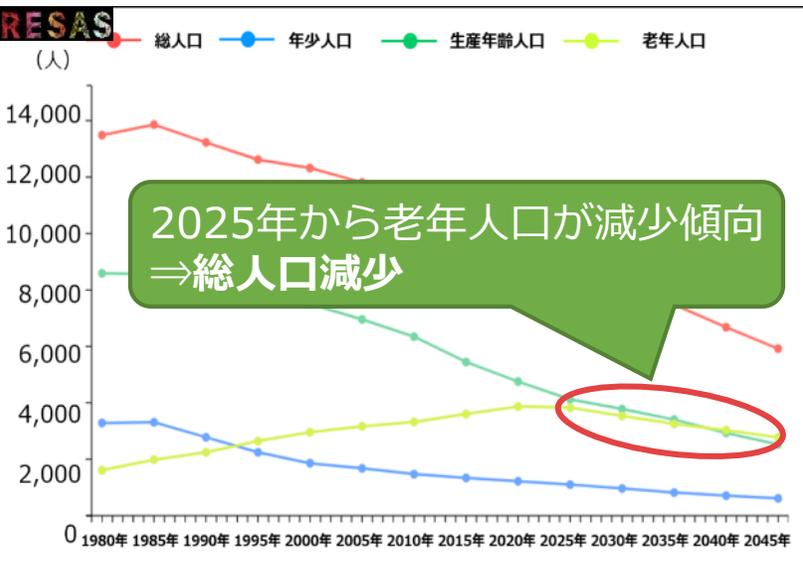
「道の駅つの」で新商品
テストマーケティング



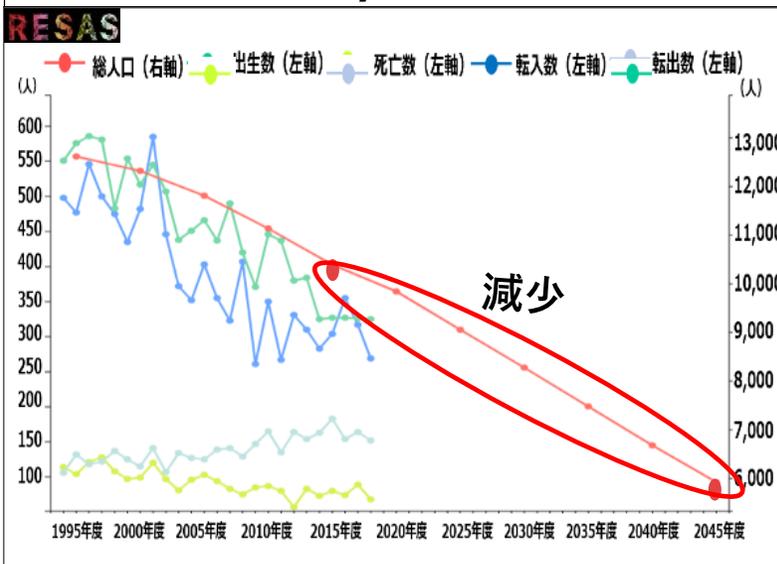
都農町のお祭りで
「道の駅つの」の商品販売

2. 都農町の現状・人口

人口推移



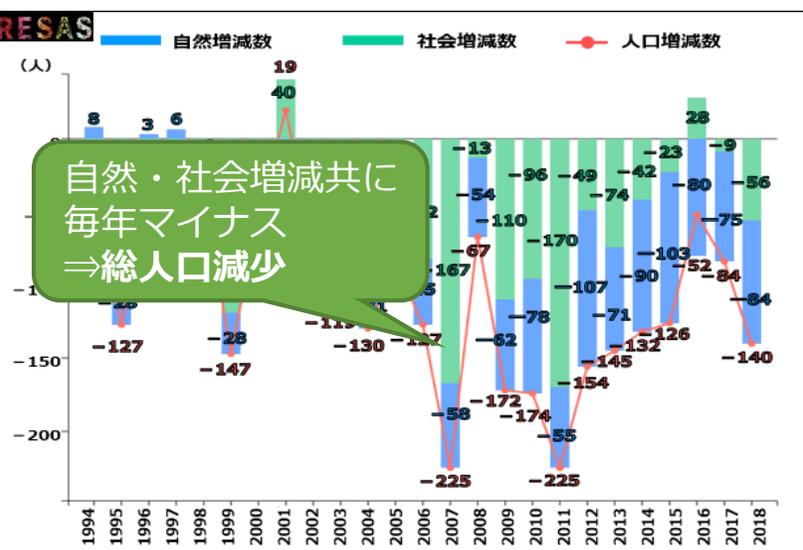
出生数・死亡数/転入数・転出数



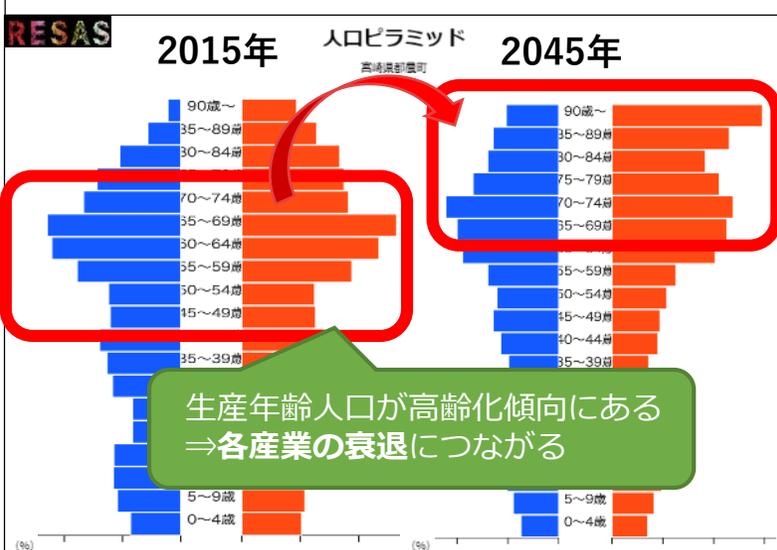
RESAS 分析の結果

- ▶ 都農町の**人口減少・高齡化**は年々深刻化 ⇒ 2045年高齡化率が約50%
- ▶ 2015年の総人口は約1万人だが、2045年には6,000人となり、**都農町の人口が40%減少**すると予測

自然・社会増減の推移



人口ピラミッド



2-1. 都農町の現状・産業分析

**農業
127億円**

農業の生産額が
大きな割合を
占めている

(出典：RESAS 2015年生産額(総額)中分類産業分類カラー)

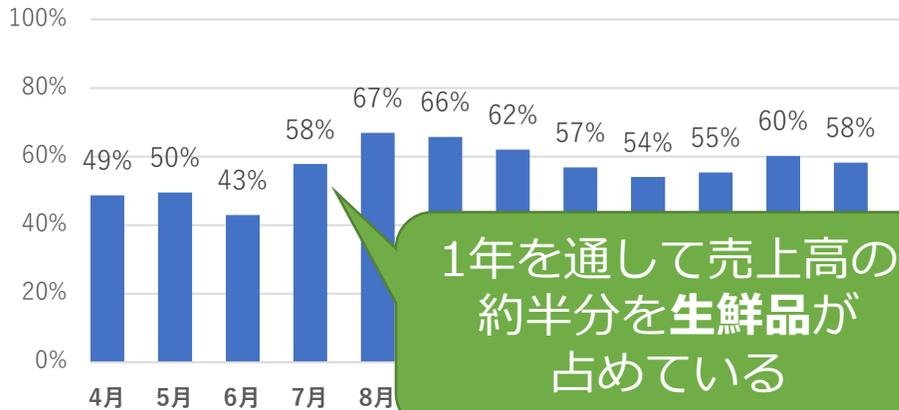
「道の駅つの」レジ売上高・来場者数の推移



(「道の駅つの」からの提供資料より作成)

「道の駅つの」の
物産館の売上高と
来場者数はともに
一定数を確保

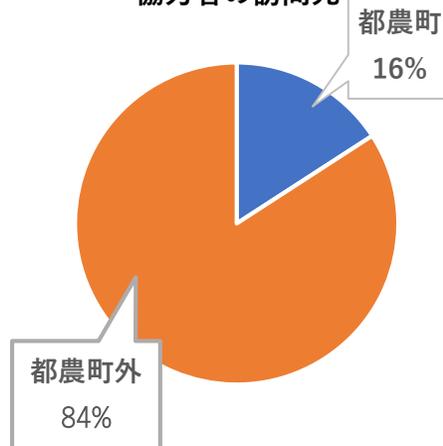
「道の駅つの」の全売り上げに対する生鮮品のシェア率 (平成31年4月～令和2年3月)



1年を通して売上高の
約半分を生鮮品が
占めている

(出典：「道の駅つの」からの提供資料)

「道の駅つの」でのアンケート 協力者の訪問元



(出典：「道の駅つの」訪問者120人の回答
(10月3,4,5日実施))

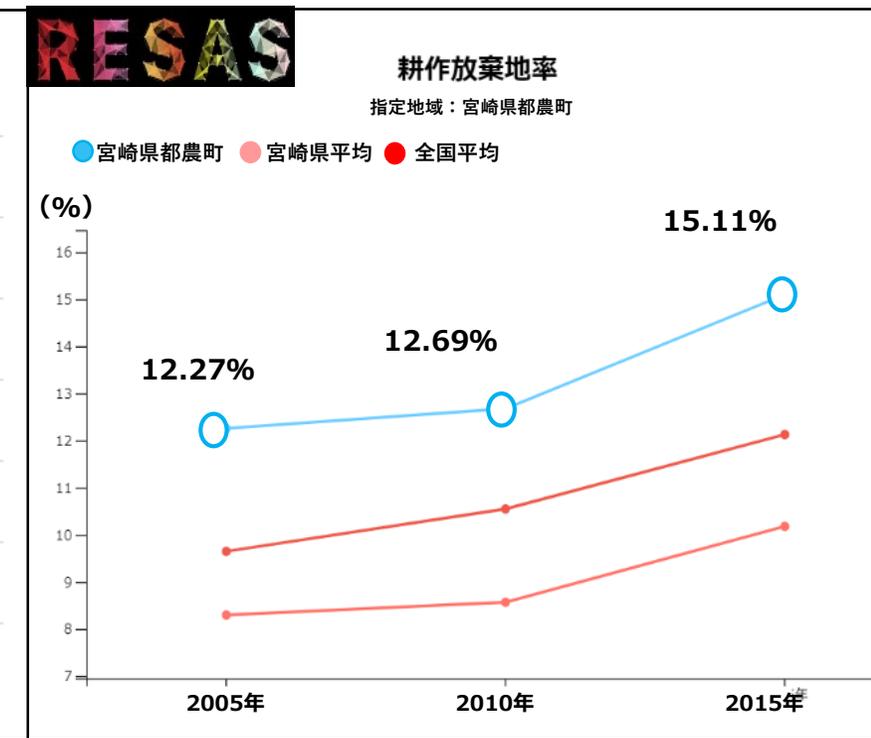
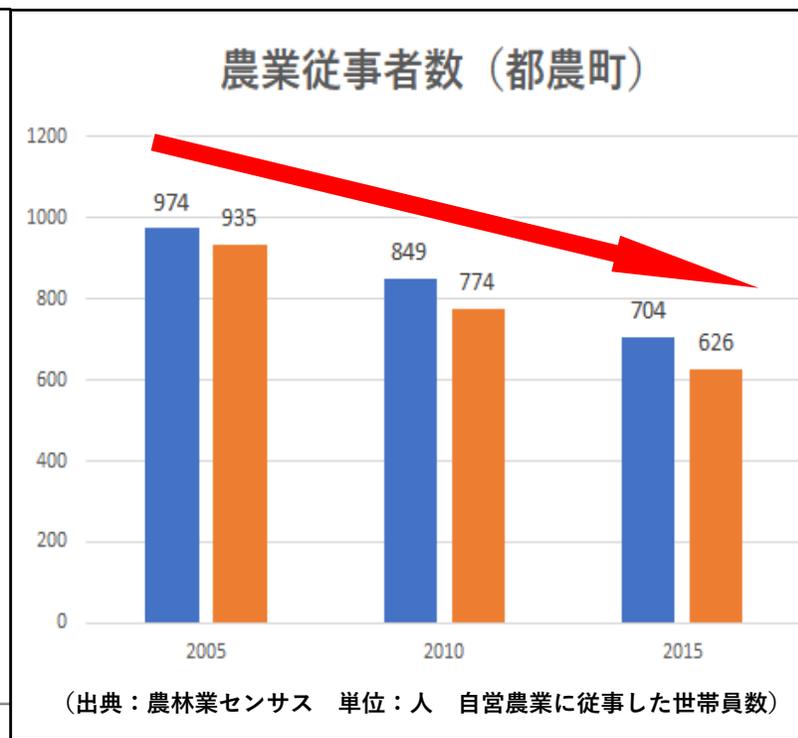
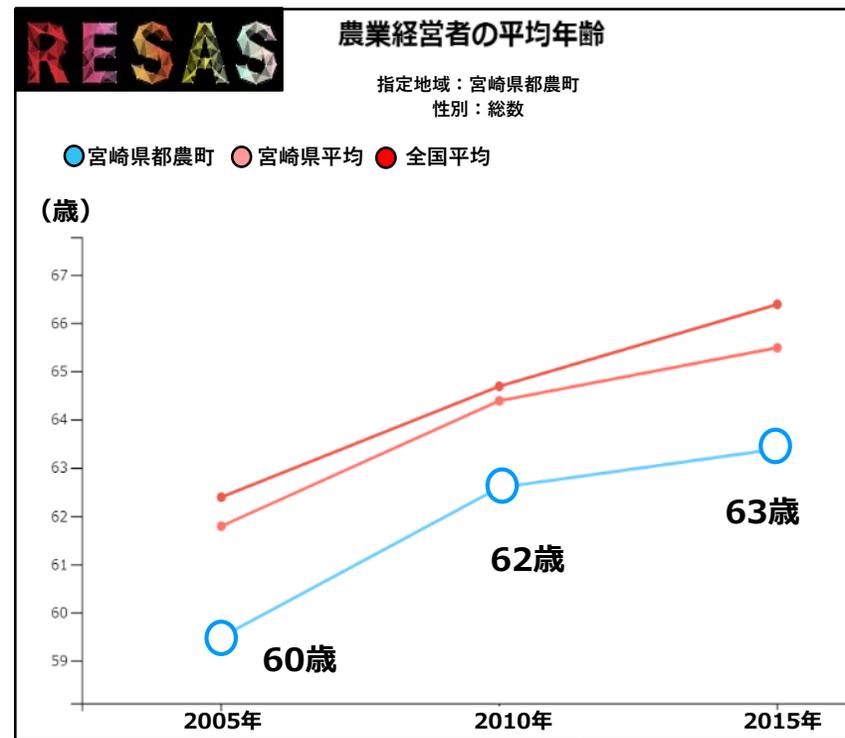
RESAS と「道の駅つの」のデータより

- ▶ 農業が都農町の産業を支えている
- ▶ 「道の駅つの」のデータからも町外訪問者は生鮮品（主に農産物）を目的に訪問していることが分析でき、町外からわざわざ買い求めるほど都農町の農作物には価値がある



都農町は**農業が強み**であり農業が
都農町の活性化の鍵になる！

2-2. 都農町の現状・農業課題



農業経営者の平均年齢は上昇傾向
60歳(2005年)⇒63歳(2015年)

農業従事者数は男性で約28%減
974人(2005年)⇒704人(2015年)

耕作放棄地率は2.84%増
12.27%(2005年)⇒15.11%(2015年)

都農町の農業経営者の高齢化とともに、**農業従事者の数も減少**
高齢化や**後継者不足**を理由に農業を辞める人が増加しており、都農町の耕作放棄地も年々増加している

「人手不足問題」を解決する必要がある

2-3. 都農町の現状・若者

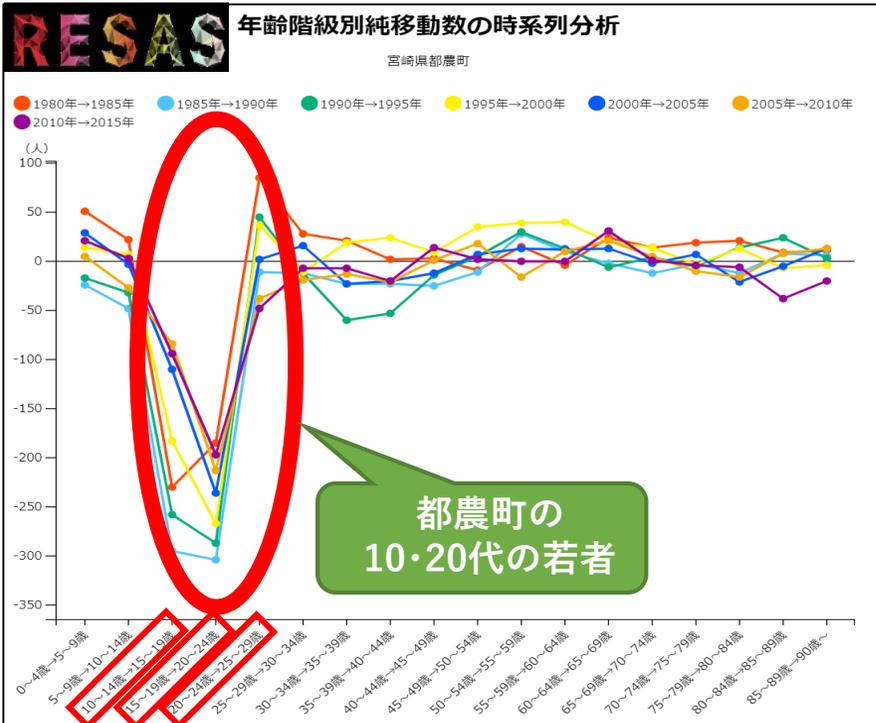
将来、各産業の
担い手となる
若者**20歳以下**に着目



年代に関わらず10・20代は
減少傾向にあり2021年3月に
唯一の高校である
都農高等学校が閉校



都農町の若者
町外流出は**激化**



教育機関（令和2年9月現在）

番号	学校名
1	都農小学校
2	都農南小学校
3	都農東小学校
4	内野々分校
5	都農中学校
6	都農高等学校



小学校：4校
中学校：1校
高校：1校

(出典：都農町ホームページ
<https://www.town.tsuno.lg.jp/display.php?cont=150403200851>)

2021年閉校の都農高校外観



2-4. 都農町の現状・若者

【進学】

	4年生大学		短期大学		専門学校		各種学校 職業訓練校		合計	
	希望数	合格数	希望数	合格数	希望数	合格数	希望数	合格数	希望数	合格数
男子	3	3	0	0	8	8	3	3	14	14
女子	1	1	2	2	13	13	0	0	16	16
合計	4	4	2	2	21	21	3	3	30	30

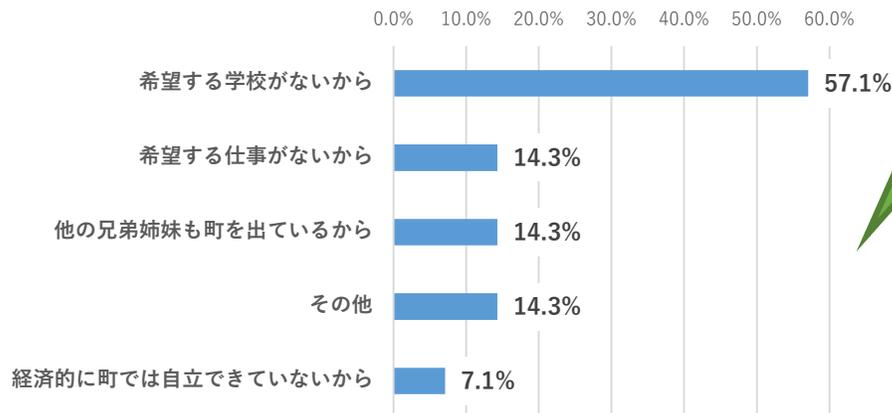
【就職】

	県内		県外		合計	
	希望数	合格数	希望数	合格数	希望数	合格数
男子	11	11	8	8	19	19
女子	12	12	2	2	14	14
合計	23	23	10	10	33	33



(出典：都農高校HP https://cms.miyazaki-c.ed.jp/6026/htdocs/index.php?page_id=47)

都農町の高校生が町を出る理由



(出典：都農町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略 第2期)

都農高校卒業生の進路

進学のためにやむを得ず都農町外に出る必要がある

都農町出身 高校生の声(質的調査)

- ▶ 田舎から都会に出て行きたい
⇒ 都会への憧れ
- ▶ 希望する職種が町内にない

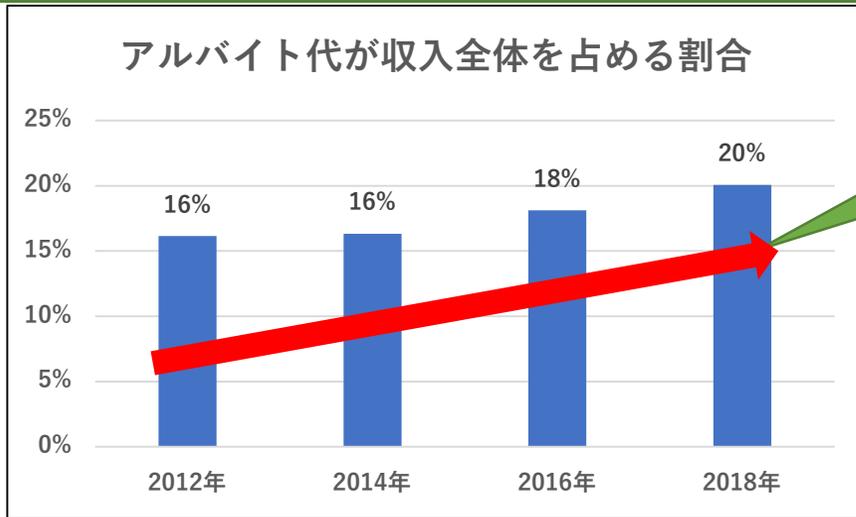
都農町内の若者が望む環境(教育機関や職種)が都農町内に少ない

“町外に行きたい”という想いの強い若者の町外流出を止めることは難しい

止められないのなら町外から人を集めればいい!

都農町内に町外の学生(若者)が訪問or滞在する仕組みを作る必要がある!

3. コロナ前後における大学生の経済的な影響



収入全体の中でアルバイト代の割合が増加

約40%の学生が学校生活を送る上でアルバイト代が必要と回答

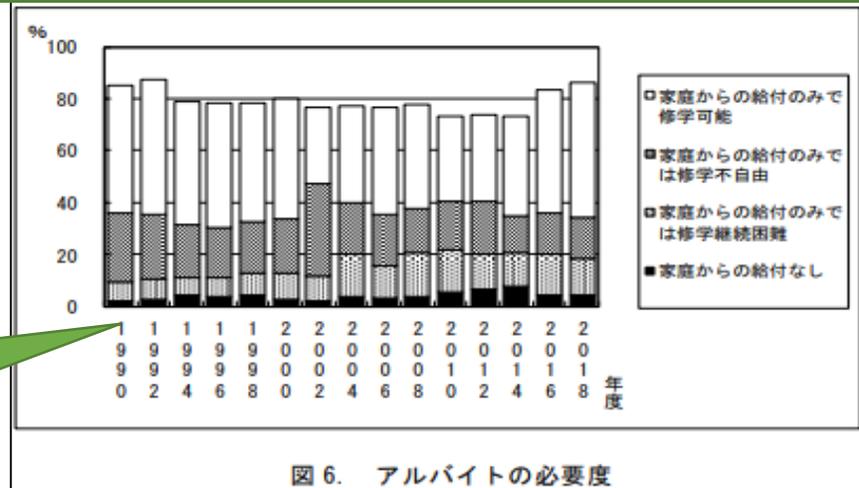
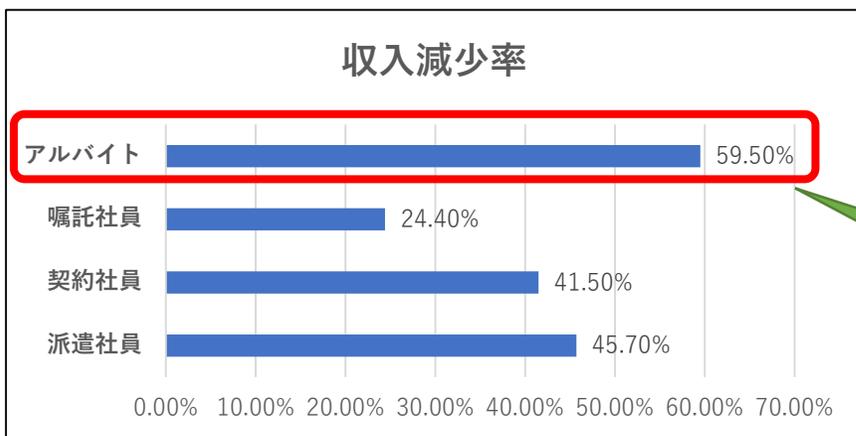


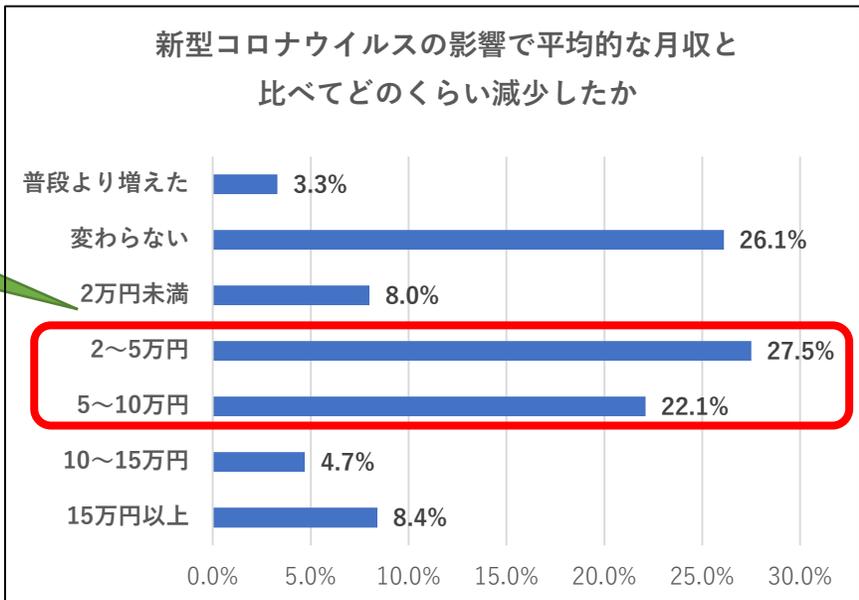
図6. アルバイトの必要度

(出典：日本学生支援機構 平成30年度学生生活調査結果
https://www.jasso.go.jp/about/statistics/gakusei_chosa/_icsFiles/afieldfile/2020/03/16/data_18_all.pdf)



約半数が「平均的な月収」が2~10万円減少していると回答

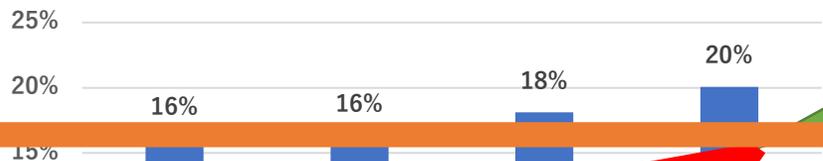
コロナによってアルバイトをしている人の収入が約60%減少



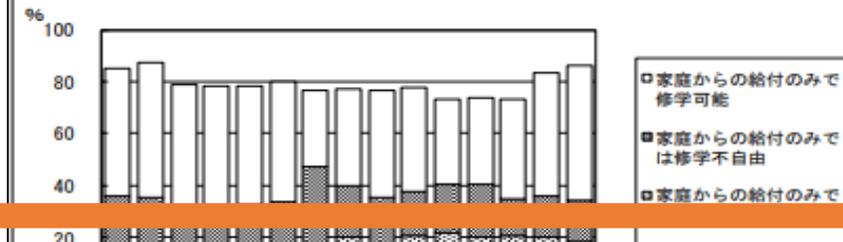
(出典：マッパバイトがサイト利用者を対象とした新型コロナウイルスの影響に関するアンケート
<https://www.livesense.co.jp/news/2020/04/23/2900/>)

3. コロナ前後における大学生の経済的な影響

アルバイト代が収入全体を占める割合



年々収入全体の中でアルバイト代の割合が増加



経済的に困難な学生が増えている！！

嘱託社員 24.40%

契約社員 41.50%

派遣社員 45.70%

0.00% 10.00% 20.00% 30.00% 40.00% 50.00% 60.00% 70.00%

(出典：新型コロナウイルスによる非正規雇用への影響調査【就業者篇】
(マイナビ調べ) <https://at-jinji.jp/blog/34362/>)

コロナによってアルバイトをしている人の収入が約60%減少

2~5万円 27.5%

5~10万円 22.1%

10~15万円 4.7%

15万円以上 8.4%

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0%

(出典：マツパバイトがサイト利用者を対象とした新型コロナウイルスの影響に関するアンケート
<https://www.livesense.co.jp/news/2020/04/23/2900/>)

どのようなアプローチが必要なのか？

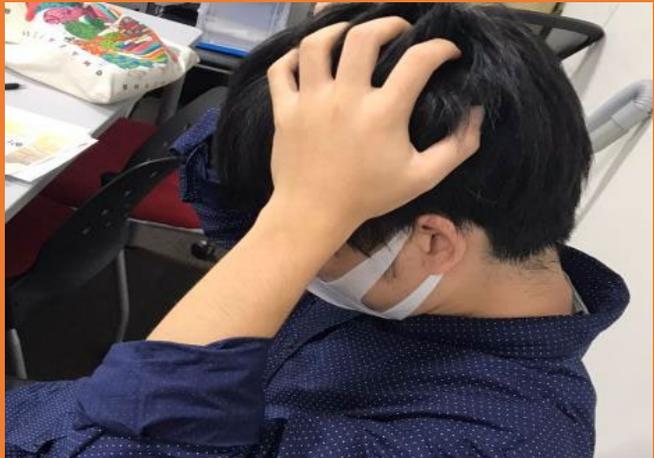
都農町の農家



- ・総人口、さらには生産年齢人口の減少
- ・若者の町外流出
- ・都農町の強みである「農業」の農業従事者や後継者が不足
→耕作放棄地が増加している

農家の
人手不足

宮崎大学生



- ・コロナによって収入が減少している
→今まで以上に生活が厳しくなった
- ・農学部のみならず様々な学部の学生にも「農業」に興味を持つ学生がいる

学生の
経済的な悩み

この2つの問題を
つなぎ、**相互解決に
導く必要がある！**

政策アイデア

学生団体

One hundred

を立ち上げます！

都農町の強みである「農業」を衰退させず、
持続可能な「農業」を実現！

4. 学生団体 One hundred の概要

人手不足の農家と経済的困難な学生をつなぐプログラムを提供し、
都農町や一般財団法人つの未来まちづくり推進機構※、大学と連携を図り、課題解決を目指す

(※都農町がふるさと納税を活用し町の課題解決のために設立した財団。設立時には10億円を拠出。以降、『つの財団』とする)

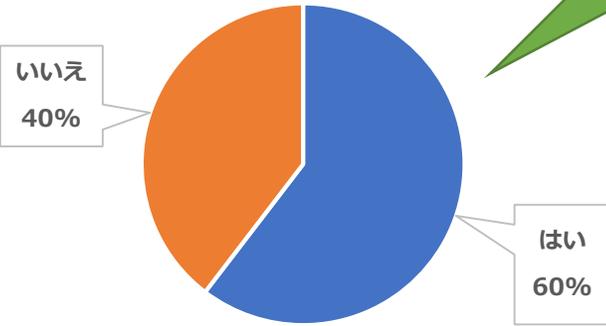


「宮崎大学」や「都農町・つの財団」の
全面的なサポートにより、
持続的な活動が実現！！

4-1.農家と学生にニーズはあるのか？

<農家側>

学生アルバイトを受け入れたいですか

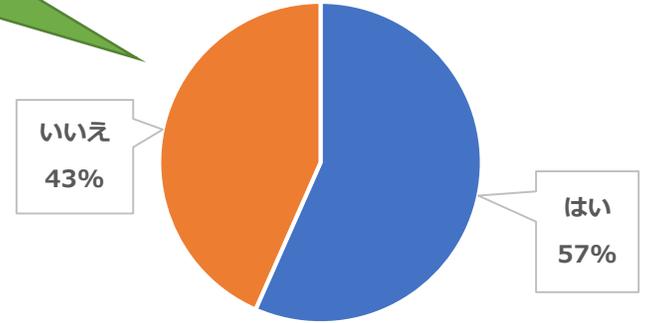


出典：「道の駅つの」に農作物を卸している農家53人の回答（10月3,4,5日実施）

家庭菜園規模の農家が多い中、**60%**の人が学生アルバイトを受け入れたいと回答

特に繁忙期には**約60%**の農家が人手不足と回答

繁忙期に人手は不足していますか



出典：「道の駅つの」に農作物を卸している農家53人の回答（10月3,4,5日実施）

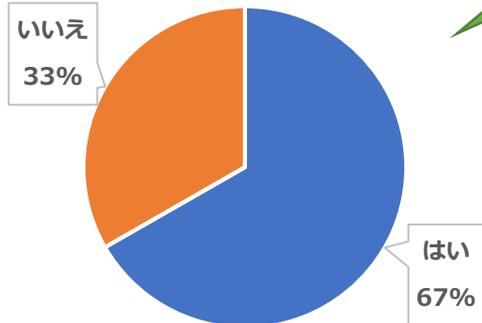
農家の声(質的調査)

- ・ 田んぼや草刈りなど収穫以外も手伝ってほしい
- ・ ブドウの袋掛けに人手が欲しい
- ・ 繁忙期は忙しいので学生アルバイトは使いたい

出典：「道の駅つの」搬入農家に対する聞き取り調査（2020年10月3,4,5日実施）
「道の駅つの」に農作物を卸している農家53人の回答（10月3,4,5日実施）

<学生側>

農業に興味がありますか



出典：宮崎大学生166人の回答(9月10日にwebで実施)

約70%の宮崎大学生が興味があると回答

宮崎大学生の声(質的調査)

- ・ 生産だけでなくどうやって売るのがかという販売面に興味がある
- ・ 作ってみたい農作物がある
- ・ 今の研究をより深めていきたい

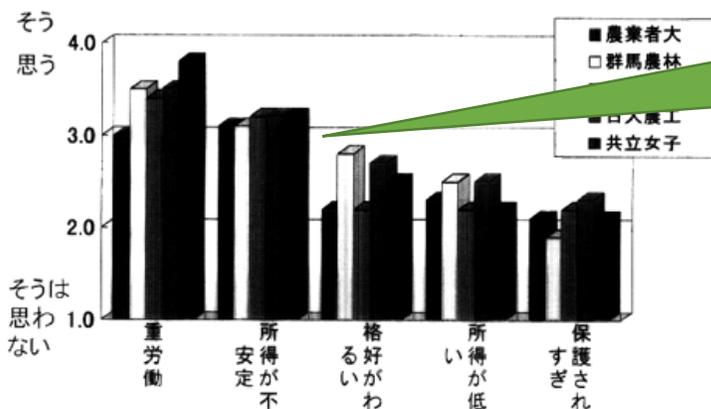
出典：「道の駅つの」に農作物を卸している農家53人の回答（10月3,4,5日実施）

- ・ 都農町の農家も実際に人手不足に直面している
- ・ 約70%の宮崎大学生が農業に興味がある

農家と学生をつなぐ
One hundredが必要である！

4-2. 学生団体 One hundred がもたらす影響

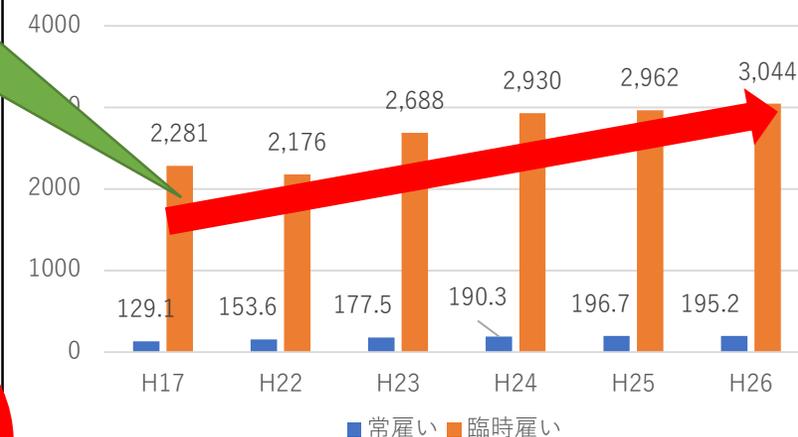
農業のマイナスイメージ(学校別)



若者の農業に対するマイナスイメージとして「所得の不安定」が2番目に多い

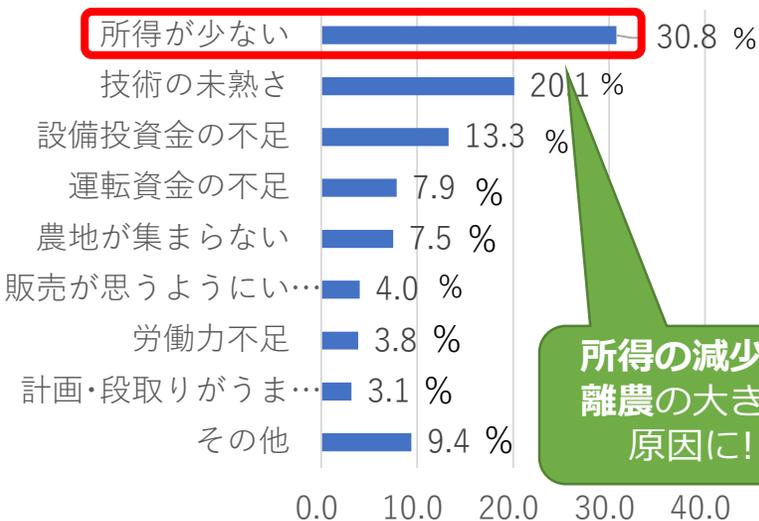
臨時雇いは年々増加しており、短期的にも長期的にも人手不足が深刻化

(単位：千人(実人数)) 雇用者数の推移

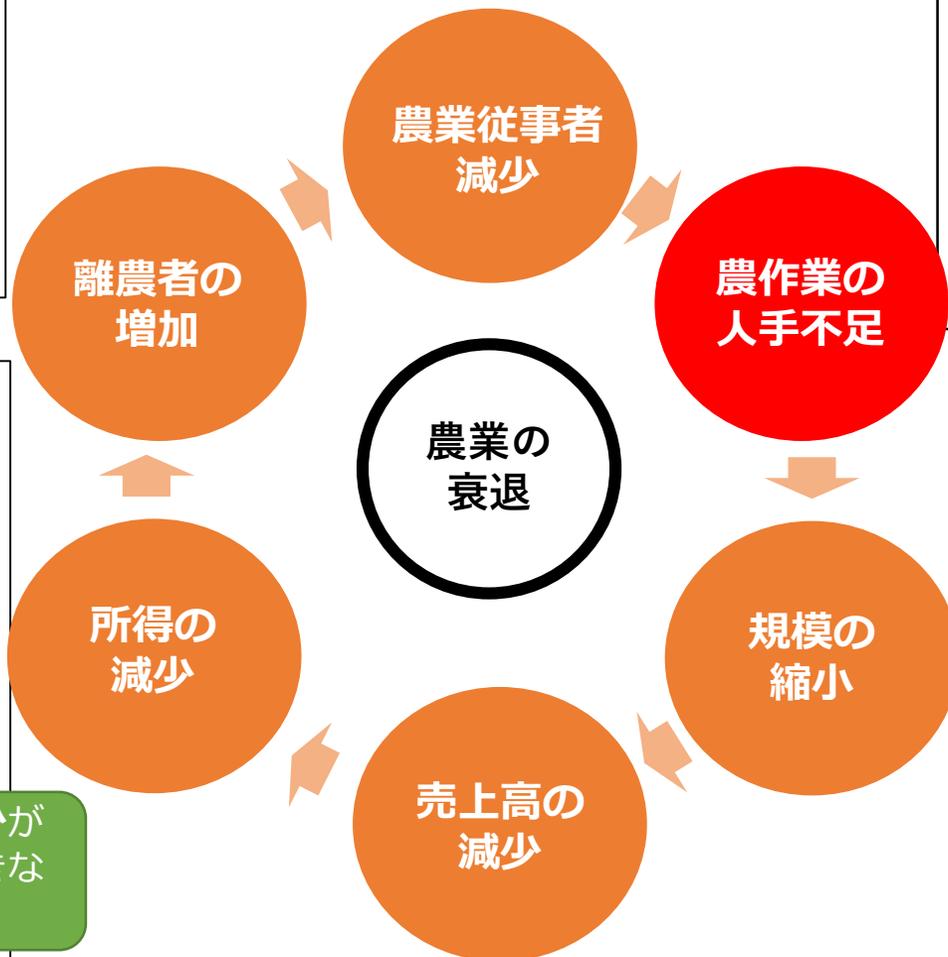


(出典：H17、H22は農林水産省「農林業センサス」
その他は「農業構造動態調査」)

新規参入者が参入後困っていること



所得の減少が離農の大きな原因に!



One hundred が
大学生と農家をマッチング
させ人手不足を解決する



持続可能な農業の実現!

(出典：全国農業会議所「新規農業者(新規参入者)の収納実態に関する調査結果」)
https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/h23/pdf/z_1_3_3.pdf

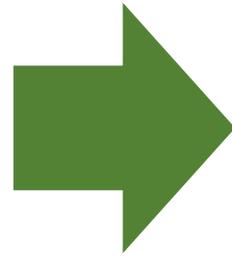
4-3.農家と学生をつなぐ具体的な3つのプログラム

それぞれの課題に対して「**農家**」と「**学生**」が
つながる機会を **One hundred** が提供

『移住ワークスタディ』プログラムからスタート！



**農家の人手不足と
経済的に困難な学生をつなげ、
両者の課題解決へ！**



『移住ワークスタディ』が軌道に乗り次第、
下記のプログラムも並行し、実施予定



**両者の課題解決に向けたプログラムに
加え農業について学べる
付加価値をつけたプログラムの提供！**

5.大学生と農家をつなぐ“移住ワークスタディ”について

概要

- ▶ 都農町に移住してもらい、農作業を行いながら、大学の講義を**オンライン**で受講するプログラム
(宮崎大学に、参加者のオンライン講義導入を提案中)
- ▶ 参加者向けに独自の奨学金制度を導入

ターゲット

- ▶ 経済的困難で大学進学をあきらめている高校生
- ▶ アルバイト収入が減り、生活が困難になっている学生

学生の主な仕事

- ▶ 都農町で生活しながら、農作業に取り組む
- ▶ 農産物によって繁忙期が異なり、農家毎に人手が欲しい時期も異なるため、スポット勤務※を基本とし臨機応変に対応する
(※1日のみ3時間程度から数週間単位の就農まで対応)

年間スケジュール		前期							後期					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
農作物	トマト	収穫					定植					収穫		
	キウイ		交配					収穫						
	ブドウ			食用ブドウ (袋掛けなど)		ワイン用ブドウ収穫								
プログラム内容	移住ワークスタディ	[繁忙期]												

移住ワークスタディを行う際に
学生が住む部屋の候補地



※都農町の農家が所有する空き部屋を
貸し出していただける予定

5-1.大学生と農家をつなぐ“移住ワークスタディ”について

One hundred の役

1. 賛同していた^割ける都農町の農家を探す
2. 学生に対して広報をする
3. 参加学生を選定する
4. 宮崎大学・つの財団と連携を図る

現在32戸の農家が賛同！

出典：「道の駅つの」に農作物を卸している
農家53人の回答（10月3,4,5日実施）

学生のメリット

- ▶ 経済的援助により大学に通えるようになる
- ▶ 特徴ある活動のため、就職活動で強みになる
- ▶ 農産物等を貰えることで生活費の補助になる
- ▶ 食と農に関心を持てる
- ▶ 農業経営の学習ができる

農作業中の学生
(One hundred メンバー体験時の写真)



農家のメリット

- ▶ 長期的に若い人材が確保できる
- ▶ 異世代交流ができる
- ▶ 農業技術、文化、伝統等の伝承
- ▶ 農家の意欲向上
- ▶ 後継者問題解消の可能性
- ▶ 第三者からの農作物の感想が聞ける
(特に家族経営の場合)

5-2.移住ワークスタディの「農の都」制度・流れ

宮崎大学

- 参加者の授業料は宮崎大学が負担
- 移住ワークスタディが終了し報告書の提出が完了次第、授業料の支払い免除が確定
- 移住ワークスタディプログラムを途中で放棄した場合は授業料の支払い義務が発生

都農町・つの財団

- 住居の提供
- ふるさと納税から学生への授業料をはじめとした資金提供
- 農家の求人情報を One hundred へ提供

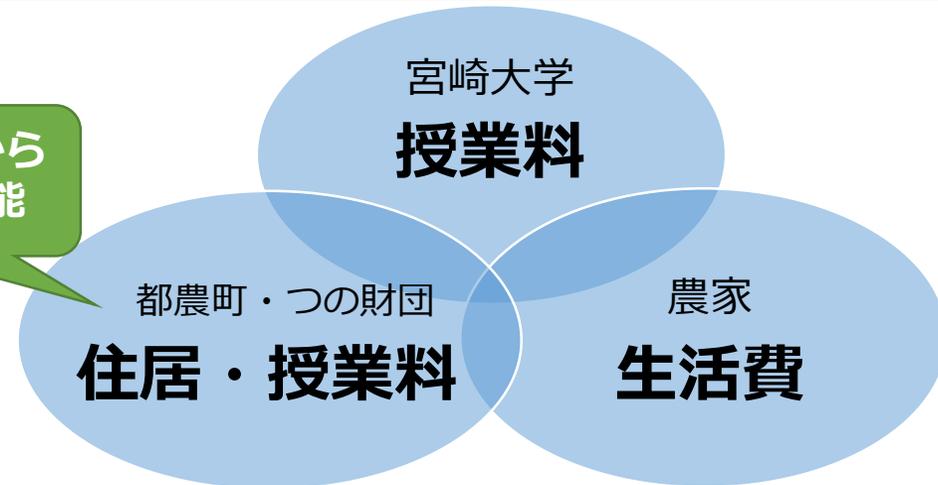
都農町の農家

- 農家は労賃と仲介料、年会費を One hundred に支払い
- 人手が足りない繁忙期に求人情報をつの財団に提供
- 学生が移住ワークスタディを出来る場を提供

One hundred

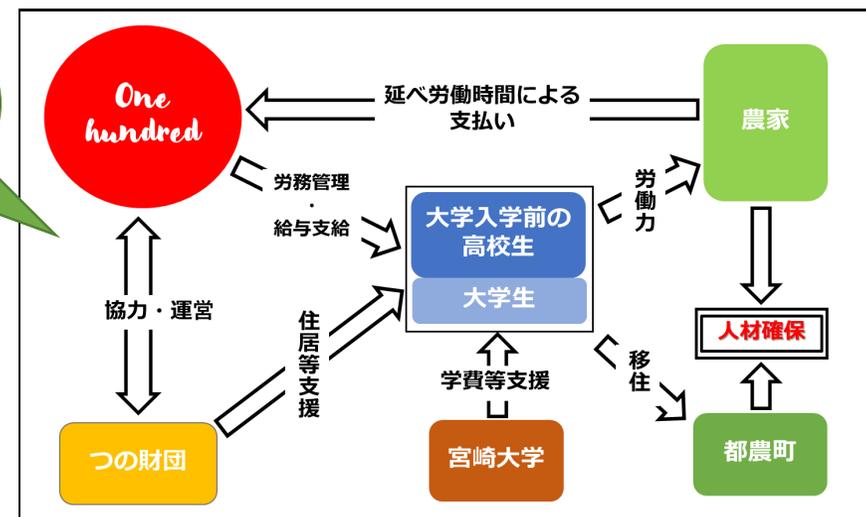
- 学生の労働を一元管理
- 給与支給
- 大学、つの財団、都農町と連携協力し、現地で学生をサポート

ふるさと納税から
財源を活用可能

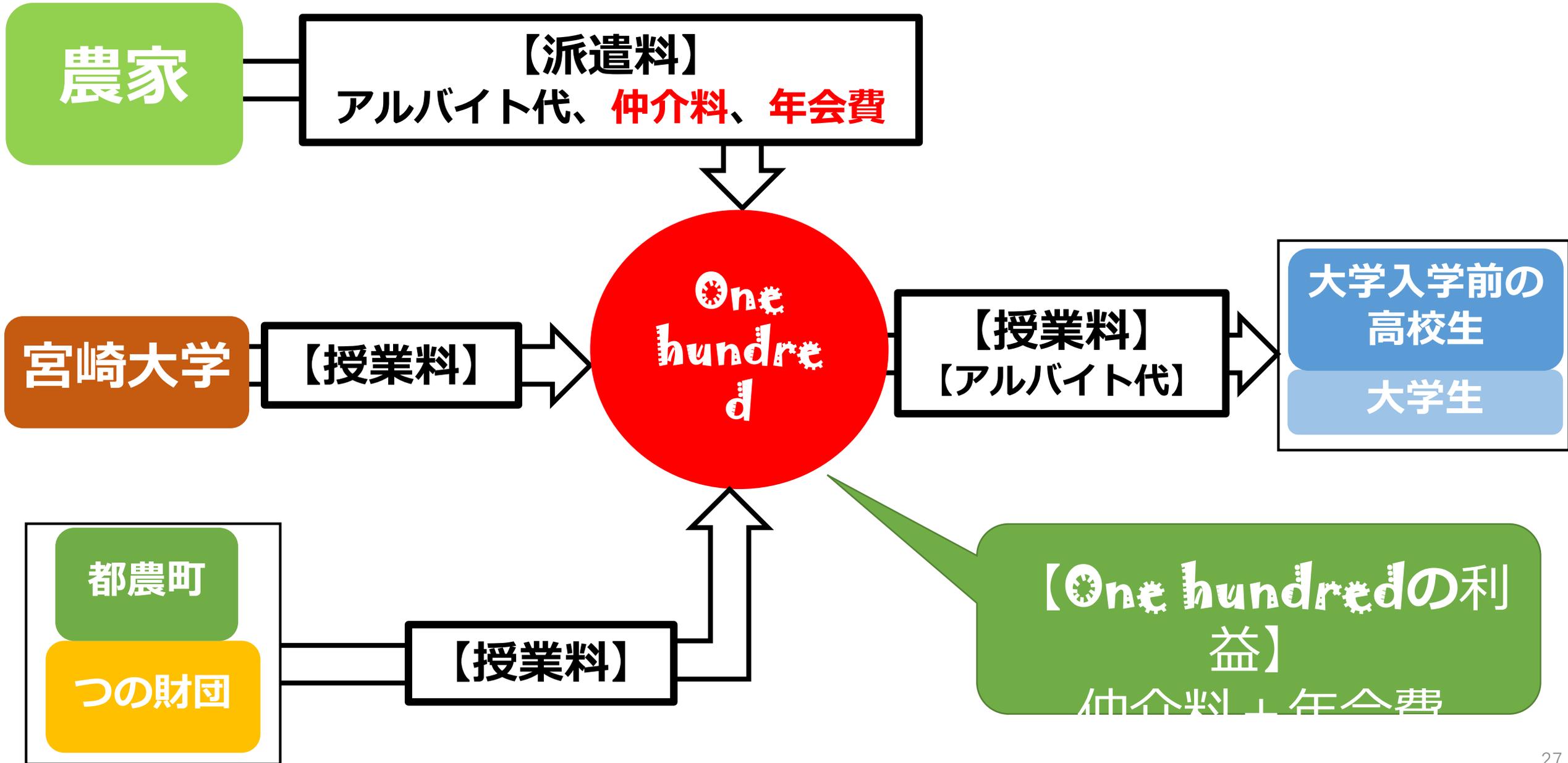


金銭的な問題を抱えず、
学習に専念できる環境を作る！

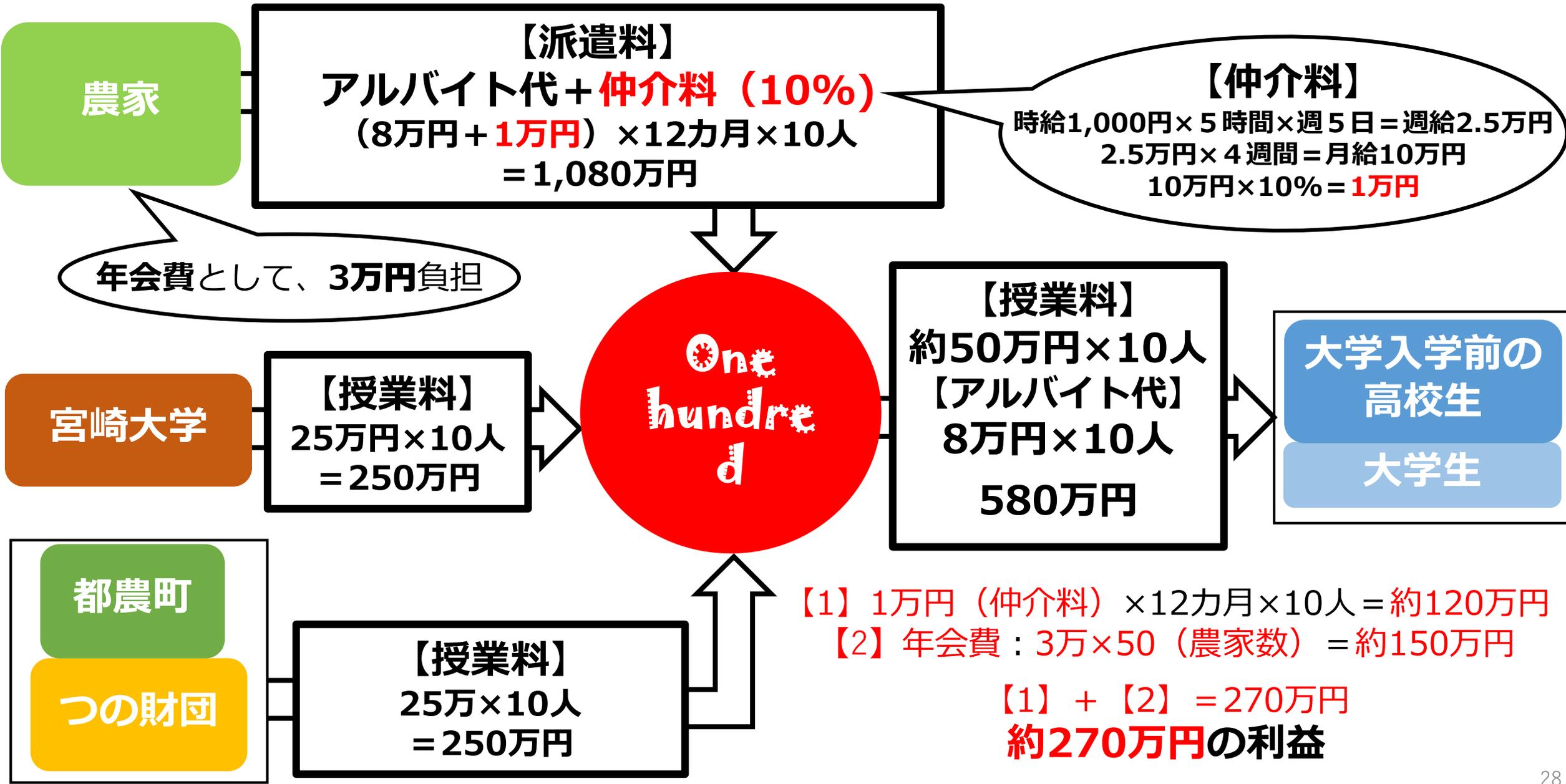
一連の流れ
イメージ図



5-3.お金の流れ（年間）



お金の流れ（年間で10人受け入れる場合の試算）



学生団体 **One hundred** は
動き出しています！

学生団体 **One hundred** は動き出しています！



農業体験

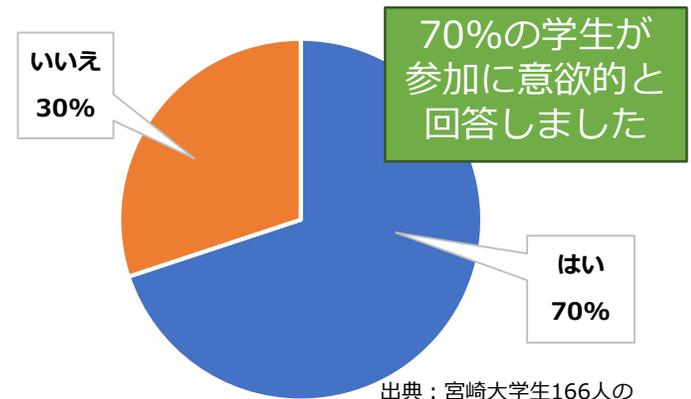
農業体験を行い、実際に学生が行う作業についてのイメージを深めました



都農町長へのプレゼン

都農町長含め都農町の方々にプレゼンし、様々なご意見をいただきました

移住ワークスタディのようなプログラムがあれば参加したいですか



出典：宮崎大学生166人の回答(9月10日Webで実施)



農業法人へのプレゼン

受け入れ先の1つとして“参加したい”という声をいただきました



つの財団へのプレゼン

都農町の農家を紹介や学生団体を支援したいという声をいただきました



宮崎大学学長へのプレゼン

“ぜひ実行してほしい”という声をいただいたとともに新たな改善点も明らかになりました

6. 学生団体 One hundred 今後の展望

One hundred モデル

人材不足に悩む**農山村地域**の農家と
経済的問題を抱える**学生**を
マッチングさせ、問題の相互解決を図る

実現に向けて

- ▶ 参加学生を増やし規模を拡大させる
- ▶ 農業以外の産業にも**アプローチ**していく

2020年度から2022年度までのスケジュール表

2020年度												
10月	11月	12月										
受入れ農家探し												
2021年度												
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
受入れ農家探し			広報、宣伝用チラシ・審査書類作成				応募期間		審査	審査合発表	受入れ農家と学生の要望調整	
2022年度												
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
受入れ農家と学生の要望調整		受入れ農家・住居決定	移住ワークスタディ開始（～2023年3月まで）									

移住ワークスタディを2.3年実施し、
One hundredとしての動きが軌道に乗ったのちに、
インターンシップや講義（課外学習）にも取り組む



水産分野で都農町と関わっている
企業に提案

都農ワイナリーや「道の駅つの」等
第三次産業にもアプローチ

今後の展望

- ▶ 若者が募り、活気のある
持続可能な農業を都農町で実現！
- ▶ この活動が軌道に乗り次第、
農業以外の全産業にも着手し、
慢性的な人手不足解決につなげる

地方創生政策アイデアコンテスト参加の意義

- RESASを身近に感じることができたこと

地域経済の実体を数値でそしてビジュアルに見ることができる
操作がしやすい（他地域・年次比較容易）

グラフをみながらメンバーで数字の背景を積極的に議論
エビデンスに基づいた政策づくりを実体験する

- RESASを使うための副読本による学習

枝廣淳子（2018）『地元経済を創りなおすー分析・診断・対策』岩波新書 他

今後の課題

- 政策効果の検証としてのRESASも重要
 - 例 全国の自治体で優れた政策を検証→その要因を探る等
- ※大学生らしい分析：第3者からの政策検証という視点
- 今後の可能性
 - cf. 『都農町経済白書』 役場職員との協働
 - 地方創生の総合戦略・人口ビジョンへの応用